

令和2年度臨時理事会議事録

- 開催日時：令和2年9月7日(月) 10時00分
- 開催場所：武蔵浦和コミュニティセンター8F第7集会室
- 出席者：会長(9名) 理事(9名) 代議員(1名) 会計(2名) 合計21名

1. 中西総務部長開会

- (1) 資料確認、
- (2) 浦和連協クラブ活動交流会開催の御案内⇒後日各期にはメール出状、浦和連協には直接各期より回答の事。
- (3) 19期、25期会報配布(各期会長宛)
- (4) 「彩の国いきがい大学」の名称利用は県連協事務局に確認し問題なし。
- (5) 28期ホームページアドレスのURL連絡

2. 会長挨拶：栗原会長

- (1) コロナ禍、酷暑、台風接近の中参加に対する謝意表明と3蜜を避けた会場設定にしている点に理解を要請した。
- (2) 7月17日開催の県連協理事会報告
 - ①3大事業及び広報活動の中止、会費徴収せず
 - ②剰余金(26万円程度)の処理につき地区連協にて検討後報告する旨要請有。
 - ③県連協の役割は各地区連協の情報交換会となった。については各地区連協の企画事業に関し報告する事となった。
- (3) 浦和連協より蕨連協へ50名から60名の参加の呼びかけあり(中西総務部長説明済)

3. 議 事

- (1) 県連協剰余金の取り扱い
 - ①事前配布のアンケートでは蕨連協加盟9校友会中7校友会が返還の回答。
 - ②したがって蕨連協としては返還として県連協に回答する。
 - ③返還は各地区連協按分とし、按分方法、返還時期については県連協の決定に従う。
- (2) 蕨連協(令和3年度以降)運営体制の検討
 - ①幹事期について各期より意見聴取
 - ・中西総務部長よりアンケートの結果を説明し各期会長の意見を聴取
 - ・24期正親会長
立候補制で任期は当初は2年間変更せず、その後落ち着いてきたら1年間の任期
会長と副会長が別の期とする
会長期で事務局(リーダー)立ち上げ、演芸大会等の実行部隊は各期から募集
 - ・18期明智会長
来期退会を決定済みであり意見は差し控えたいが、立候補するところがあれば良い。
 - ・19期飯塚会長
来期退会予定。会長は互選で永久にやってもらいたい。
3大事業は6期の中からチームを作り実施。
 - ・22期根岸会長
今年度末で10周年迎え、アンケートを実施したら95%が蕨連協脱退の回答。
10月の理事会にて退会を決定する予定。期の校友会からも抜きたいという人もあり。

- ・ 23 期柳井会長
24 期・25 期等で立候補していただき、できれば永久的にお願いしたい。
事業としては演芸大会+aだと思ふ。
- ・ 25 期近藤会長
複数期で集団指導体制（6 期体制）
今年度イベントがないため 28 期にもう 1 年やって欲しい。
6 期の中で 2~3 の集団・輪番制はどうか
- ・ 25 期根本理事
1 年毎の輪番制にすると脱退するところが出て来た時に安定しない。
立候補で会長を決めると事務局が固定され公平感に欠ける
したがってグループ・輪番制でグループ内で会長、副会長スタッフを決めたら
良いと思ふ。
- ・ 26 期萩原会長
立候補が理想だがなんで自分の期だけとならないか
演芸大会もやめても良いのではないか
- ・ 26 期岩永理事
立候補が良いと思ったが立候補者はいるのか？それで輪番制が良いと思った。
- ・ 27 期星野会長
輪番制が理想である。
ウォーキング、グランドゴルフはやらずやりたい期が声をかければ出来る
会議の運営は 1 つの期で出来る。
演芸大会は年 1 回全期が集まり有意義であり、全期で役割分担できる。
最初に戻って 23 期より輪番はどうか？
立候補があれば一番良いし、専任でやるには厥は所帯が大きすぎる。
- ※23 期柳井会長
今年 1 年の会長であり、来年の運営期をと言われても「はい」と言えない。
- ・ 28 期栗原会長
「今年度活動がないので来年も」というのはお断りする旨 28 期内で合意有。
他の地区連協は選任制が多い様である。
- ・ 中西総務部長意見集約
18 期・19 期・22 期が退会の方向⇒残りの 6 期で運営
立候補⇒なければ互選⇒3 グループ位で輪番
事務局の仕事の内容⇒負荷がかかりすぎないように

②幹事期に関する自由討議（発言者名割愛）

- ・ まずルールを決める。
- ・ 今のルールのまま 23 期から回せば良いのではないか
- ・ 1 期でやるか複数期でやるか決めれば良いのではないか
- ・ 1 期でできる。あとは他期に連絡するだけ。最初の改革だから 1 年目で道筋をつけ、
2 年目で軌道に乗せ、3 年目で常態化する。
- ・ 演芸大会は是非やって欲しいとの声がある。
- ・ 演芸大会に出場しようとしても題目が集まらず、やめてもという意見が多い。
- ・ 各期持ち帰って次回話し合う事にしたらどうか
- ・ アンケート回答した時点で各期話し合っている筈、今日決めた方が良い。
- ・ 27 期の時代から話しているのもう決めたらどうか。
- ・ コロナの影響で会議が開催出来ずに輪番制を考えたが中々決められなかった。
- ・ それぞれの期で話し合っている筈なのでここで決めるべき。
- ・ 各期の会員の合意がないのでここでは決められないのでは。
- ・ 互選で指名され、納得できないのに会長に決められても困る。
- ・ 立候補と言っても自薦・他薦があると思ふ。
- ・ 立候補について拒否権の問題もあり輪番制が良いのではないか？

③幹事期に関するまとめ

- ・中西総務部長より立候補する方を募るが立候補の自薦は無し。
- ・星野蕨連協副会長
24期正親会長に是非2年やって欲しい、その間にルールを纏めてはとの提案あり。
- ・24期正親会長
2年間の会長就任を応諾された。尚、副会長には23期にお願いする事にしたい旨正親会長より話あり。

④平成3年度幹事期について最終結論

- ・24期正親会長が蕨連協会長、24期が事務局（幹事期）として運営していく事が満場一致にて決定された。
※具体的な運営方法等については、今後検討してく。

(3) 令和3年度のその他の運営について

中西総務部長より下記項目のアンケート結果を個別に説明し、以下の通りとした。

- ① 理事会の回数（3ヶ月に一回程度とする。）
- ② 企画会議（理事会に組み込む*但し、企画案件付議の場合は、企画担当出席）
- ③ 3大事業（GG大会以外は、新執行部にて詳細は検討し理事会に諮り決定する）
- ④ 会費
 - ・24期正親会長
元々200円であったが22期が蕨連協会長時に300円に上げた。
事業が少ないので200円に戻したらどうか？
 - ・22期根岸会長
今年度の会費（含む解散期の会員）について返還等含めて次回検討してほしい。

(4) 令和2年度蕨連協各期企画事業について

中西総務部長より一覧表にした趣旨（各期間の情報共有と県連協理事会からの要請）が説明された。

4. 決定事項

資料.1 剰余金について⇒蕨連協としては、返還希望（会員按分）*県連へ報告

資料.2 ①幹事期⇒24期正親会長（推薦満場一致で承認）

②会議の周期⇒3ヶ月に一回

但し、緊急を要する案件が生じた場合臨時理事会を開催する。

③企画会議⇒年度当初の理事会へ付議

④三大事業⇒GG大会（廃止）

ハイキング大会（別途）、演芸大会（継続とするが、規模等は、新体制で検討）

5. 次回蕨連協理事会開催予定

日時：2020年12月14日（月）午前中を予定

会場：予約取れ次第連絡

以上